

開催要項



主催 全国公立学校教頭会 九州地区公立学校教頭会 佐賀県公立学校教頭会

後援 文部科学省・佐賀県・佐賀市・全国都道府県教育長協議会・佐賀県教育委員会
佐賀県市町教育長会連合会・佐賀市教育委員会
福岡県教育委員会・鹿児島県教育委員会・沖縄県教育委員会・宮崎県教育委員会
大分県教育委員会・長崎県教育委員会・熊本県教育委員会
全国連合小学校長会・全日本中学校長会・佐賀県小学校校長会・佐賀県中学校校長会
佐賀県退職教頭会・公益社団法人日本教育会
公益社団法人日本 PTA 全国協議会・佐賀県 PTA 連合会 (順不同)

大会主題 「未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり」
(全国統一研究主題 第12期2年次)

キーワード 「志」・「豊かな心」・「未来を切り拓く」
サブテーマ 「志を高くもち 豊かな心と未来を切り拓く力を育む 学校づくりの推進」

開催期日 2021年8月3日(火)・8月4日(水)

開催地 佐賀県佐賀市

会場 全体会場：グランデはがくれ
分科会場：グランデはがくれ

日程

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
【1日目】 8月3日(火)		開 会 行 事	記 念 講 演	昼 食		シ ン ポ ジ ウ ム	諸 連 絡	16:45
【2日目】 8月4日(水)		分 科 会		昼 休 み	分 科 会			

記念講演

(対談形式)
講 師 緒方 孝市 氏 (プロ野球 前広島東洋カープ監督)
聞き手 高木 健 氏 (佐賀県教育委員会保健体育課係長)
演 題 「組織を活かすマネジメント」

シンポジウム

テーマ「高い志 豊かな心 切り拓く未来」
コーディネーター 富吉賢太郎 氏 (学校法人佐賀清和学園理事長 元佐賀新聞論説委員)
シンポジスト 中島 潔 氏 (日本画家 絵本作家)
シンポジスト 坪田 信貴 氏 (坪田塾塾長)
シンポジスト 竹下 真由 氏 (竹下製菓株式会社代表取締役社長)

(写真提供：佐賀県観光連盟)

研究内容



テーマ『志を高くもち 豊かな心と未来を切り拓く力を育む 学校づくりの推進』

研究の基本目標

これからの日本社会は、グローバル化がますます多様性をもたらすとともに、人工知能のさらなる進化により、急速な情報化や技術革新による生活の質的变化の進展が予想されます。教育においては、このような変化の激しい社会の中、志高く、未来を切り拓いていくために必要な資質・能力を、子供一人一人に確実に身につけさせることが求められています。

学校運営に携わる私たち副校長・教頭は、今後の教育の在り方を見極め、日本国憲法や教育基本法の理念に基づき、これからの時代を担っていくたくましい子供たちを育む学校教育を実現していくことが大きな使命です。そのために、「社会や地域とともにある学校づくり」を展開し、「生きる力」を育むことに努めなければなりません。また、私たちは、その職務内容の研究・実践を通して力量を高め、国民の期待に応える魅力ある学校づくりに努める必要があります。

以上のことから、次のことを研究の基本目標とします。

○教育理念に基づく学校教育の実現

特色ある学校づくり、社会に開かれた学校づくりを展開し、生きる力を育む学校教育の実現を目指す。

○副校長・教頭としての力量の向上

広い視野に立つて学校運営が行えるよう、学校教育に対する識見を深める。

○学校の社会的役割の推進

国民の期待に応える魅力ある豊かな学校づくりを推進する。

分科会	課 題	各 課 題 の 内 容	提 言 テ ー マ			会 場
第1A	教育課程に関する課題	○教育課程の編成・実施・評価 ○学校経営・学校運営 ○教育理念 ○教育目標の設定 ○信頼される学校づくり ○生きる力 ○幼・保・小・中・高・特別支援学校の連携 ○コミュニティスクール ○土曜授業 ○地域との連携	全国	神奈川 (小)	豊かな人間性と創造性を育む学校を目指して —「教頭力」向上のために—	グランデはがくれ ハーモニーA
			九州	福岡 (中)	現代的諸課題に対応するための副校長・教頭会の組織的取組 —「汎用性」と「独自性」からの分析をとおして—	
第1B			全国	福井 (中)	未来を担う力を育む幼保小・小中接続のあり方 —0歳から15歳までの「学びのつながり」づくり—	グランデはがくれ ハーモニーB
			九州	沖縄 (小)	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組の充実について —「北谷町スマイルプログラム」を活用した支持的風土のある学年・学級づくりを通して—	
第2	子供の発達に関する課題	○豊かな人間性の育成 ○健康・体力の増進 ○確かな学力 ○課題を発見し解決する力 ○子供の発達を支える教育課題	全国	京都 (中)	小中連携、地域社会との連携・協働を通して、社会貢献できる生徒の資質・能力を高めるためのカリキュラム・マネジメントの確立	グランデはがくれ フラワーA
			九州	熊本 (小)	組織的な小中連携の在り方と副校長・教頭の役割 —各中学校区小中連携構想図等を活用した学びと育ちの滑らかな接続を目指して—	
			佐賀	鳥栖 (中)	児童生徒の豊かな人間性の育成 —地域との連携を深める取組を通して—	
第3	教育環境整備に関する課題	○安全・安心 ○施設設備 ○家庭・地域との連携 ○学校規模適正化 ○文書事務・経理事務 ○教育の情報化	全国	鳥取 (中)	生徒の自主的活動による安心・安全な学校づくりと教頭の関わりについて —「楽しく安全な学校づくりサミット」の取組をとおして—	グランデはがくれ フラワーC
			九州	鹿児島 (中)	学校の教育的環境整備に教頭としてどのように関わるべきか —業務改善の推進と生徒の資質・能力の向上を目指して—	
			佐賀	佐賀 (小)	児童生徒が安全・安心な学校生活を送ることのできる環境整備に係る取組 —防災体制づくりの視点をを通して—	
第4	組織・運営に関する課題	○学校運営全般 ○人材育成 ○組織力の向上 ○危機管理や情報管理 ○地域連携 ○異校種連携	全国	北海道 (小)	チームとして推進するカリキュラム・マネジメント —組織力の向上と人材育成における教頭の役割—	グランデはがくれ シンフォニーA
			九州	宮崎 (小)	コミュニティスクール導入期の組織づくりと副校長・教頭の役割 —A中学校区コミュニティスクールの実践を検証して—	
			佐賀	武雄 (中)	非常災害等における危機管理体制と副校長・教頭の役割 —武雄市内小・中学校での危機管理体制の見直しを通して—	
第5A	教職員の専門性に関する課題	○教育の専門家としての意識高揚 ○指導力の育成 ○研修 ○服務・コンプライアンス意識 ○小中一貫教育 ○協働体制の構築 ○学校運営参画意識の向上	全国	岩手 (中)	教職員の意識高揚を図るための副校長・教頭としての関わり —教職員がやりがいを感じるための取組を通して—	グランデはがくれ シンフォニーB
			九州	長崎 (小)	教職員の資質向上を図り、魅力ある学校をつくるための副校長・教頭の役割 —若年教師の資質向上を図るための工夫—	
第5B			全国	高知 (小)	教員の指導力・授業力を高める仕組みを整えるための副校長・教頭の関わり	グランデはがくれ 脊振
			佐賀	みやき (中)	教職員の指導力向上を目指す協働体制の構築 —教職員の力量を高める—	
第6	副校長・教頭の職務内容や職務機能に迫る課題	○「全国公立学校教頭会の調査」について結果報告及び考察 埼玉大学教育学部教育実践総合センター教職大学院 教授 安原 輝彦 氏	全公教総務部・研究部		魅力ある副校長職・教頭職の在り方 —学校の新しい生活様式と働き方改革—	グランデはがくれ 多良
特別I	特別課題	○時宜に応じた課題 放送大学 教授 博士(情報学) 中川 一史 氏	全公教研究部		新たな生活様式に基づく学校の取組とGIGAスクール構想	グランデはがくれ 有明
特別II		○開催地の創意を生かした課題	佐賀県		① ICTを活用した業務改善に向けての副校長・教頭の役割と指導性 ② 人事評価制度を活用した人材育成のための副校長・教頭の役割と指導性	グランデはがくれ 黒髪

研究の基本方針

1 学校教育の課題の解決に努める

私たちの研究は、国民の期待に応え、教育基本法及び学校教育法等の諸法規に定められた教育の目標を達成することを究極の目的とする。そのために自ら職能を高め、学校現場が抱えている課題の解決に努める。

2 副校長・教頭の職務内容や職務機能を追究する

学校運営において副校長・教頭としての関わりを大切にし、その職務内容を実践的に追究するとともに職務の充実を図る。

3 研究成果を政策提言活動(要請活動)に生かす

研究活動と政策提言活動(要請活動)は全国公立学校教頭会の活動の2本柱である。研究の成果を政策提言活動に生かし、教育環境の整備に役立てていくよう努める。